

小山工業高等専門学校		開講年度	令和02年度 (2020年度)		授業科目	現代建築論	
科目基礎情報							
科目番号		0065		科目区分		専門 / 選択	
授業形態		講義		単位の種別と単位数		学修単位: 2	
開設学科		建築学科		対象学年		5	
開設期		前期		週時間数		2	
教科書/教材		SD 選書					
担当教員		安高 尚毅					
到達目標							
1 近代・現代建築のムーブメントを説明することが出来ること。 2 現代建築の発生過程について近代建築を参照し、説明出来ること。							
ルーブリック							
		理想的な到達レベルの目安		標準的な到達レベルの目安		未到達レベルの目安	
評価項目1		近代・現代建築のムーブメントを説明することが出来る。		近代・現代建築のムーブメントの理解が不十分。		近代・現代建築のムーブメントの理解ができていない。	
評価項目2		現代建築の発生過程について近代建築を参照し、説明出来る。		現代建築の発生過程についての理解が不十分。		現代建築の発生過程について近代建築を参照し、説明出来ない。	
評価項目3							
学科の到達目標項目との関係							
学習・教育到達度目標 ⑤ JABEE (A)							
教育方法等							
概要		モダニズムとポストモダニズムの考え方の違いについて講述する。					
授業の進め方・方法		おもにスライド資料とプリントにより授業を進める。					
注意点							
授業計画							
前期	1stQ	週	授業内容		週ごとの到達目標		
		1週	オリエンテーション		近代建築と現代建築の違いを把握		
		2週	モダニズム建築の夜明け		デスティル、ゼセッション、オットーワグナー、アールヌーボー、アールデコ、ガウディの把握		
		3週	フランク・ロイド・ライトの建築		フランク・ロイド・ライトの建築の把握		
		4週	ミース・ファンデル・ローエの建築		ミース・ファンデル・ローエの建築の把握		
		5週	ル・コルビジエと坂倉準三と前川国男と吉坂隆正の建築およびル・コルビジエの都市論		ル・コルビジエの建築・都市論の把握		
		6週	丹下健三と菊竹清訓の建築・都市論		丹下健三と菊竹清訓の建築・都市論の把握		
		7週	モダニズムとポストモダニズム (自邸)		モダニズムとポストモダニズムの考え方の違いを理解する		
	8週	中間試験		モダニズム建築と近代建築の巨匠について説明することができる			
	2ndQ	9週	ザハ・ハディッドとレム・コールハースの建築		ハ・ハディッドとレム・コールハースの建築の把握		
		10週	ダニエル・リベスキンドとサンチアゴ・カラトラバの建築		ダニエル・リベスキンドとコア・ヒンメルブラウとサンチアゴ・カラトラバの建築の把握		
		11週	ジャン・ヌーベルとピーター・ズントーの建築		ジャン・ヌーベルとピーター・ズントーの建築の把握		
		12週	磯崎新と黒川紀章の建築		磯崎新と黒川紀章の建築の把握		
		13週	安藤忠雄と伊東豊雄の建築		安藤忠雄と伊東豊雄の建築の把握		
		14週	内藤廣と大江匡の建築		内藤廣と大江匡の建築の把握		
		15週	世界の建築と建築家		世界の建築を知ることの重要性の把握		
		16週	期末試験		近現代の主要な建築家と作品について説明できる		
モデルコアカリキュラムの学習内容と到達目標							
分類		分野	学習内容	学習内容の到達目標		到達レベル	授業週
基礎的能力	工学基礎	グローバル化・異文化多文化理解	グローバル化・異文化多文化理解	それぞれの国の文化や歴史に敬意を払い、その違いを受け入れる寛容さが必要であることを認識している。		2	
				様々な国の生活習慣や宗教的信条、価値観などの基本的な事項について説明できる。		2	
				異文化の事象を自分たちの文化と関連付けて解釈できる。		2	
				それぞれの国や地域の経済的・社会的な発展に対して科学技術が果たすべき役割や技術者の責任ある行動について説明できる。		2	
専門的能力	分野別の専門工学	建築系分野	計画・歴史	現代社会における都市計画の課題の位置づけについて説明できる。		4	
				近現代都市の特質と課題について説明できる。		4	
				近代の都市計画論について説明できる。		4	
				現代にいたる都市計画論について説明できる。		4	
				都市と農村の計画について説明できる。		4	
				日本および海外における近現代の建築様式の特徴について説明できる。		4	
評価割合							
	試験	発表	相互評価	態度	ポートフォリオ	その他	合計

総合評価割合	100	0	0	0	0	0	100
基礎的能力	0	0	0	0	0	0	0
専門的能力	100	0	0	0	0	0	100
分野横断的能力	0	0	0	0	0	0	0